



令和7年度

# 8・9月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和7年8月29日



三大幼 HP は  
こちらから



## 知ること、感じることの大切さ

園長 安田 徳章

今年も暑い日が続く毎日でしたが、皆様の夏休みはいかがでしたでしょうか。8月の園庭では、ブドウがしっかりと熟して美しい紫色の粒をいくつもみせてくれました。タイミング的に子どもたちに味わってもらえなかったのは残念で申し訳なかったのですが、傷んでしまっはもったいない、と教職員で少しずついただきました。とっても甘くておいしかったです！

私たち教員は、夏休み中にも様々な研修を受ける機会があります。私は人権教育研修会として、墨田区の産業・教育資料室を訪れる機会に恵まれました。その施設の近くの地域では、近隣の住民でさえもほとんど立ち入らず、実態をよく知らないまま差別的な意識をもってしまっていた時代がありました。その時代についての考え方や捉え方は様々あるようですが、その地域のことを何も知らないまま、不安や恐れなどの気持ちをもったり遠ざけようとする気持ちになったりして、近寄ってはいけない場所や人、という認識や差別的な意識につながってしまっていたというお話を聞きました。工場の様子やそこで働く人たちの様子を知れば、マイナスの感情をもたずに済んだかもしれない。そのような思いを抱かずにいられたかもしれない。見えなかったことが見えるようになれば、不必要な感情を抱かずに済むことが確かにある、と思います。現在も、自分とは違う、よく分からない、などの理由から遠ざけようとする気持ちにつながっていないか、我が身を振り返ることの大切さを改めて感じました。

知ることの大切さについて、子どもたちに照らし合わせて考えてみると、知ことは感じることと切っても切り離せないのがこどもの世界ではないでしょうか。「知ことは感じること」ともいえるかも知れません。知ることの中には、感じることもくっついているのがこどもの生活で、それはとても大切で素晴らしいことだと思っています。大量の知識のみを教え込むことは、いわゆる早期教育のマイナス部分のように、大切な感じることをせずに知識を増やしているにすぎません。

休み明けの保育でも、子どもたちが夏休み中に体験してきたことを大切にしながら、気付き感じる笑顔があふれる毎日となるよう、夏休み期間中に得た学びをしっかりと生かして教育の充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 今月の指導のポイント



### 年中りんご組

久しぶりの幼稚園生活が始まります。登園を楽しむ姿もあれば、緊張や不安を感じている姿もあると思います。子どもたち一人一人の気持ちを受け止めながら、安心して過ごしていけるようにします。また、身支度や生活の流れを確認したり、教師や友達と夏休み前に楽しんでいた遊びや新たに思いついた遊びをしたりして、園生活のリズムを少しずつ取り戻せるようにします。

気候がよい日には、園庭で運動遊びやかけっこ、ダンスなどを教師や友達とすることで、のびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにします。

むしむしハウスやすいすい池、野草園など園庭の自然にも変化が見られます。草花や虫に興味をもったり、色水遊びや虫探しなど自然物を遊びに取り入れたりして、興味や関心が広がっていくようにしていきます。

### 年長にじ組

夏休みが終わり、前期後半が始まりました。生活の仕方を思い出し、リズムを取り戻しながら生活を進めていけるようにします。

遊びの中で、友達と一緒に園で楽しんでいたり夏休みに経験したことを取り入れながら楽しむようにしていきます。その中で、友達と遊びを進める楽しさを感じ、友達とのつながりを深めていきます。

様々な運動遊びに取り組む中で自分の力を発揮し、体を動かす楽しさを十分に感じられるようにします。また、自分のめあてをもち、繰り返し挑戦したり友達と力を合わせたりすることを楽しくするようにします。互いに思いを出し合い、相談したり協力したりしながら、さんだいスポーツフェスティバルへの意欲や期待を高め、目的に向かってやり遂げた満足感を十分に味わえるようにしていきます。